

地域生活拠点の整備手法(イメージ) ※あくまで参考例となります。



（今後へ向けて、市町村の役割）

厚生労働省は、こうした地域生活支援拠点について平成32年度末までに熊谷市を含む各市町村または各圏域に少なくとも一つを整備することを第5期障害福祉計画の成果目標としています。全国的に見ても、平成28年9月時点で整備済が20市町村2圏域となっています。(全国の自治体数1,741圏域352)

また、今後の整備を進めるためには、①自立支援協議会の活用、②整備類型、必要な機能の検討・検証、③関係者への研修・説明会の開催、といった条件が必要とされており、それらを含めた今後の整備動向が注視されています。

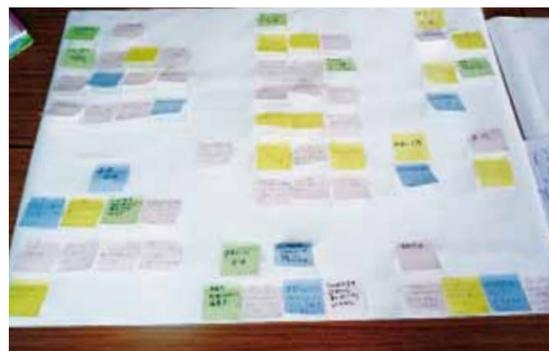
地域自立支援協議会の活動について

地域自立支援協議会とは、地域の様々な関係機関や社会資源とのつながりを作るなど、障害を持つ人の生活を地域全体で支える仕組みを作る場として、障害者総合支援法に基づき、設置・運営されています。

大里地域では、熊谷市・深谷市・寄居町で共同設置されており、定期的な各部会の開催や合同研修会の実施など、様々な活動を行っています。

その中で、当センターは熊谷市相談支援事業所連絡会の事務局を担い、毎月1回の頻度で、熊谷市内の相談支援事業所の相談支援専門員や行政の職員の方にお集まりいただき、情報交換や勉強会を行っています。

今年度は特に、日頃の業務における課題や困りごとについて様々な情報を挙げていただくことで、地域の課題やニーズを把握し、今後の相談支援業務に役立てています。



講演会の報告

【大里地域自立支援協議会企画講演会】  
 テーマ：誰もが暮らしやすい地域づくり  
 ～あんなこといいなできたらいいな♪～  
 平成29年10月13日(金)  
 立正大学熊谷キャンパスにて実施



当日の講師はNHKEテレみんなのためのバリアフリーバラエティ「バリバラ」に出演中の【玉木幸則氏】をお招きしてユーモアな内容を交えながら「誰もが暮らしやすい地域づくり」をテーマに分かりやすくお話をして下さいました。  
 質疑応答でも受講者とのやり取りが交わされ、「自分らしく生きたいと思います」等の発言もあり、充実した講演会となりました。  
 最後に「こんな社会にしたいな」ということで「障害のある人もない人も助け合いながら、その人らしい暮らしを実現していける社会に」、それこそがソーシャルインクルージョン(社会的包括)で、みんなのための社会づくりとなると話されていました。

各講座の報告

当センターでは、障害のある方の日常生活や社会生活に役立つ情報や社会参加の促進などを目的に各講座やプログラムを実施しており、講習会やセミナーについては、それぞれ特定非営利法人遊TOびあ、熊谷市ろう者協会、熊谷市視覚障害者福祉協会に委託し、より専門的な内容で企画・実施して頂いております。これにより各講座やプログラムもより専門的にニーズに則した内容となり、多くの方に参加して頂きました。

アロマ講習会(視覚障害者対象)  
 平成29年8月17日  
 「熊谷市障害福祉会館」にて実施



聴覚講演会(聴覚障害者対象)  
 平成29年10月14日  
 「さくらめいと」にて実施